

IPMATE FT3000R-AP の 新機能について

2001年6月

このドキュメントでは、新機能についての操作説明を記述しています。

《ご注意ください》

IPMATE FT3000Rのその他の設定に関しましては、本製品に添付の取扱説明書をあわせてご確認ください。

追加された機能について

1. INSメッセージ到着お知らせサービスに対応

INSネット64 (INSネット64・ライトを含む) の付加サービスで、Lモード対応アナログ電話機をご利用のお客様宛てのメッセージがセンタに到着していることをランプでお知らせします。



2. i・ナンバー3番号に対応

INSネット64 (INSネット64・ライトを含む) の付加サービスで、1回線につき「2番号」または「3番号」を持つことができるサービスです。

新機能ご利用いただくには

NTTのホームページよりIPMATE FT3000R: Lモード対応ファームウェア (Ver.1.03) への更新を行なってください。

ファームウェアの更新後、本ドキュメントの説明に従って、それぞれの追加機能の設定を行なってください。

《ご注意ください》

INSネット64 (INSネット64・ライトを含む) の付加サービスをご利用いただくには、別途、NTTとの契約が必要です。

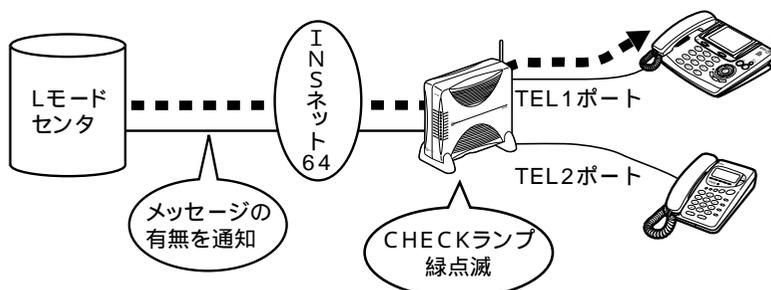
新機能をお使いいただくには、IPMATE FT3000R-APのファームウェアを更新し、機能の設定が必要です。

お手元に、IPMATE FT3000R-APの取扱説明書をご用意ください。

Lモード

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

IPMATE FT3000R-APは、Lモード対応アナログ電話機を接続してLモードをご利用になれます。Lメールがセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ電話機のディスプレイにメッセージがあることを表示させたり、IPMATE FT3000R-APのCHECKランプでお知らせすることができます。



INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

必要な契約

Lモードなどの、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するサービスの契約（有料）が必要です。

必要な設定

「メッセージあり状態表示（Lモード関連）」または「メッセージあり情報通知（Lモード関連）」の設定が必要です。

Lモード対応アナログ電話機など、INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

《ご注意ください》

IPMATE FT3000R-APのアナログポートにLモード対応アナログ電話機を接続してLモードのサービスをご利用になる場合は、発信者番号を通知する設定を行なってください。（取扱説明書P.159、P.116、P.118参照）

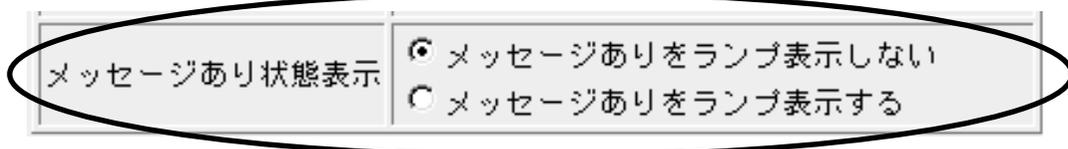
メッセージあり状態表示機能とは

Lメールがセンタに届いたときに、FT3000R-APのCHECKランプを点滅させます。

メッセージあり状態表示機能を設定するには

詳細設定メニューからアナログポート1 / 2情報画面：[装置の動作に関連する設定項目]メッセージあり状態表示機能を設定します。(取扱説明書P.118参照)

追加項目



アナログポート1 / 2それぞれについて、「メッセージあり状態表示」する / しないのいずれかを選択します。

「メッセージありをランプ表示しない」 (初期値)

「メッセージありをランプ表示する」

「メッセージありをランプ表示する」を選択すると、センタに、いずれかのポートに接続された端末宛てのメッセージが届いた場合、IPMATE FT3000R-APのCHECKランプが緑点滅します。

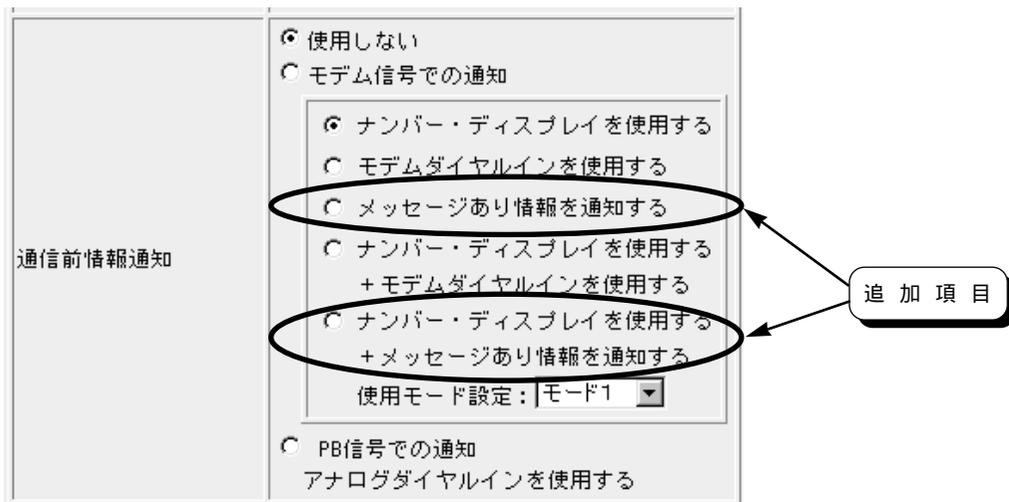
センタにメッセージなしの状態の場合にはCHECKランプが消灯します。

メッセージあり情報通知機能とは

Lメールがセンタに届いたときに、アナログポートに接続されたLモード対応アナログ電話機のディスプレイにメッセージを表示させます。

メッセージあり情報通知機能を利用するには

詳細設定メニューからアナログポート1 / 2 情報画面： [装置の動作に関連する設定項目] 通信前情報通知を設定します。(取扱説明書P.118参照)

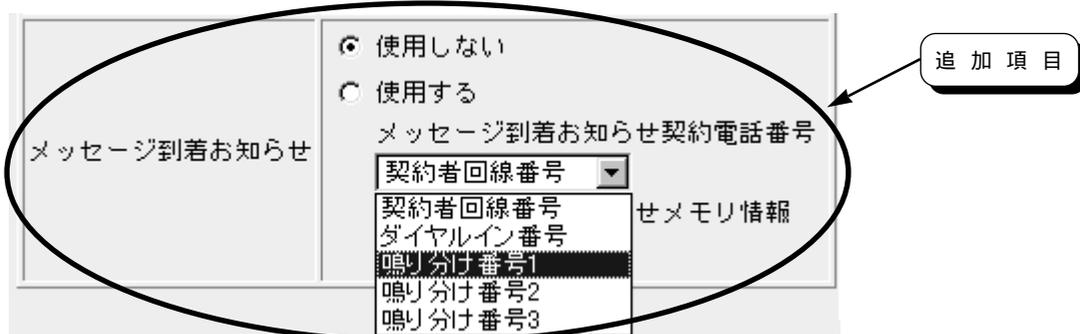


アナログポート1 / 2それぞれについて、「通信前情報通知」として、モデム信号での通知を使用する / しないのいずれかを選択します。(初期値：「使用しない」)

Lモード対応通信機器に対するメッセージあり情報を通知するには、
「モデム信号での通知」を選択し、かつ
「メッセージあり情報を通知する」または、
「ナンバー・ディスプレイを使用する + メッセージあり情報を通知する」
を選択してください。

メッセージあり情報通知ポートを特定するには

詳細設定メニューからアナログポート1 / 2情報画面：[網契約に関連する設定項目] メッセージ到着お知らせを設定します。

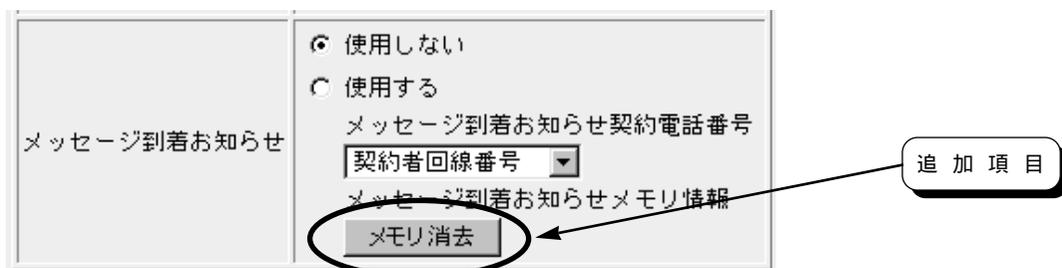


アナログポート1 / 2それぞれについて、「メッセージ到着お知らせサービス」を使用する / しないを選択します。(初期値：「使用しない」)

「使用する」を選択した場合、契約した電話番号を選択することによりメッセージ到着お知らせ情報通知先を特定することができます。

メッセージあり情報を削除するには

詳細設定メニューからアナログポート1 / 2情報画面：[網契約に関連する設定項目] 「メッセージ到着お知らせ」の「メモリ消去」ボタンで消去することができます。



IPMATE FT3000R - APは情報表示設定の有無に係わらず、契約された情報通知サービスについて情報を蓄積することが出来ます。

メモリ消去ボタンをクリックすると、センタ情報(全センタの登録状況と蓄積情報)を設定したアナログポート1 / 2ごとに消去することができます。

IPMATE FT3000R-AP のi・ナンバー 3番号対応について

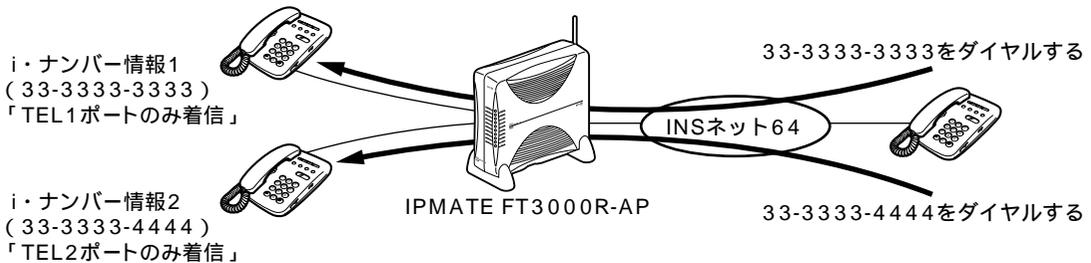
i・ナンバーとは

INSネット64(INSネット64・ライトを含む)の付加サービスで、1回線につき、「2番号」または「3番号」を持つことができるサービスです。

これまでの1回線に1つの追加番号サービス「i・ナンバー(2番号)」に加えて、2000年7月より、1回線に2つの追加番号サービス「i・ナンバー(3番号)」が開始されました。

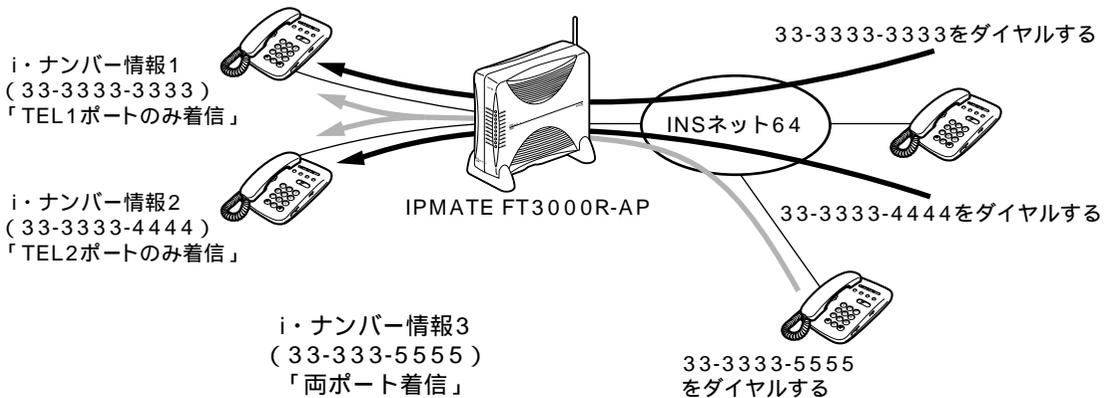
これまでは.....

(i・ナンバー(2番号)の場合)



これからは

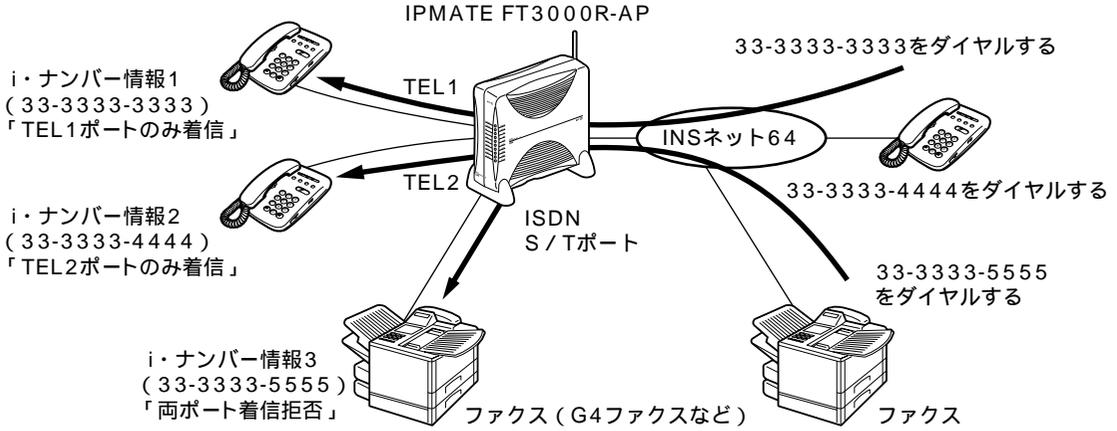
(i・ナンバー(3番号)の場合)



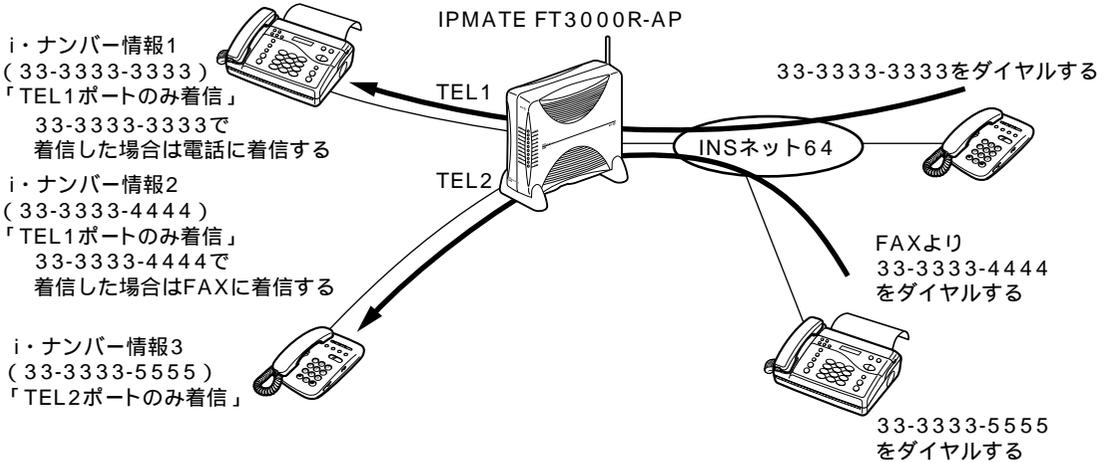
注：i・ナンバー3番号をご利用になるには別途契約が必要です。

i・ナンバー（3番号）の利用例

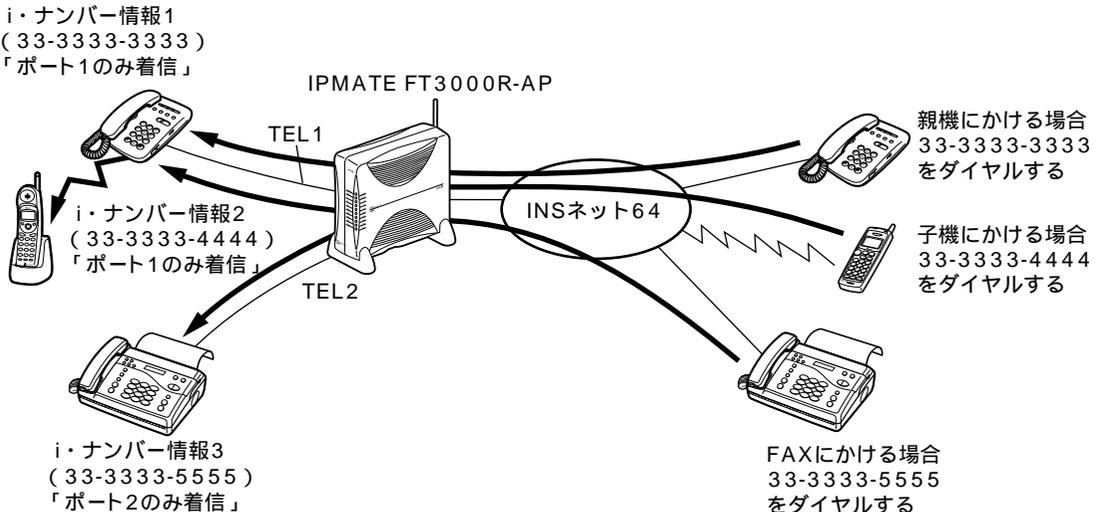
ファクス（G4ファクスなど）を利用する



モデムダイヤルイン機能を利用する



モデムダイヤルイン対応親子電話を利用する



IPMATE FT3000R-APでは、以下の新機能をご提供するためにファームウェアを更新いたしました。

《ご注意ください》

i・ナンバー（2番号）（3番号）をご利用いただくには、別途利用契約（有料）が必要です。

新機能をお使いいただくには、ファームウェアを更新したIPMATE FT3000R-APに設定が必要です。

お手元に、IPMATE FT3000R-APの取扱説明書をご用意ください。

「アナログ共通情報」画面の変更（取扱説明書 P.116参照）

[i・ナンバーごとに擬似着信転送を設定する場合]

[i・ナンバーを「使用する」場合]

・鳴り分け番号1/2/3

鳴り分け番号1/2/3を市外局番から半角数字（最大32桁）で入力します。
（区切り文字として「-」、「（）」が使えます。）

・動作モード

i・ナンバー情報1/2/3で着信があったとき、着信するポートを選択したり、着信拒否することができます。

ポート1のみ着信：TEL1 ポートのみ着信 (i・ナンバー情報1 初期値)

ポート2のみ着信：TEL2 ポートのみ着信 (i・ナンバー情報2 初期値)

両ポート着信：TEL1、2 ポートともに着信 (i・ナンバー情報3 初期値)

着信拒否：TEL1、2 ポートともに着信しない

アナログポート1 / 2情報の変更（取扱説明書 P.118参照）

[i・ナンバーの鳴り分け番号から発信者番号を選択する場合]

| | |
|---------|---|
| 発信者番号通知 | i・ナンバー設定が「使用しない」の場合 |
| | <input type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない <input checked="" type="radio"/> INSネット64申込内容に従う |
| | i・ナンバー設定が「使用する」の場合 |
| | <input checked="" type="radio"/> 鳴り分け番号1 <input type="radio"/> 鳴り分け番号2 <input type="radio"/> 鳴り分け番号3 |

追加項目

・ 鳴り分け番号1/2/3

i・ナンバー設定が「使用する」の場合にアナログポートからの発信時に発信者として通知する「鳴り分け番号1/2/3」のいずれかを指定します。

回線情報の変更（取扱説明書 P.78 参照）

[自局番号チェックをする場合]

| | | | |
|----------|-------------------------------------|---|--|
| 自局番号チェック | <input type="radio"/> しない | | |
| | <input checked="" type="radio"/> する | | |
| | チェックする番号1 | 電話番号を指定 | |
| | チェックする番号2 | 電話番号を指定 i・ナンバー情報1 i・ナンバー情報2 i・ナンバー情報3 | |
| | サブアドレス | | |
| | グローバル着信 | <input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない | |

追加項目

注：「チェックする番号2」も同様です。

・ 着信を許可する番号1/2

着信を許可する番号として「電話番号を指定」「i・ナンバー情報1」「i・ナンバー情報2」「i・ナンバー情報3」のいずれかを選択します。

電話番号を指定 : 電話番号を市外局番から半角数字（最大32桁）で入力します。
（区切り文字として「-」、「（）」が使えます。）

i・ナンバー情報 (1/2/3) : i・ナンバー情報1 または i・ナンバー情報2 または i・ナンバー情報3 での着信を許可します。
電話番号を入力しても無効です。

サブアドレス : 自局番号チェックを行うサブアドレスが設定できます。
半角英数字（最大19桁）で入力します。
電話番号を指定する場合、i・ナンバー情報1/2/3を選択した場合のいずれも有効になります。

グローバル着信 : グローバル着信を利用するかしないかを選択します。